

# 『中小企業景況調査概況』

福井県信用保証協会では、協会利用企業者の現状を把握し中小企業の経営をサポートするため、景況調査を実施しましたので調査結果をお知らせいたします。

(当協会の利用企業は従業員20人以下の企業が9割以上を占めています。)

## 【概要】

- ・ 今回調査における中小企業の景況感は、「業況」、「売上高」で前回(平成30年4～6月)調査に引き続き改善しており、全体として回復傾向が続いている
- ・ 来期(平成31年1～3月)については、「仕入価格」以外の全ての項目で悪化が予想されており、人手不足の問題も深刻化していることなどから厳しい状況が見込まれる

## 【保証動向】[平成30年度(4～12月末)]

- ・ 平成30年度(4～12月末)の保証動向は、保証承諾が前年比129.6%と増加、平成30年2月の大雪の影響による「滞貨減産資金」の増加が要因となった
- ・ 代位弁済は、大口の代位弁済の発生により、前年比141.8%と増加、また、条件変更による返済緩和債権の残高も依然として高水準で推移しており、予断を許さない状況にある

## 【企業の声】

- ・ IT導入により増収増益
- ・ 仕入価格の上昇が止まらず、売上が増加していても利益が少なく厳しい状況
- ・ 受注はあるが、電力・運賃などが値上げされ、利益率が下がっている
- ・ 人手不足により受注を断らざるを得ないことがある
- ・ 従業員の高齢化と若手人材の確保と教育が課題

## 【景況アンケート】[当協会利用の1000企業を対象に実施、429企業が回答(回答率42.9%)]

- ・ 今期(平成30年10～12月)の業況DI、売上高DIは引き続き改善した  
来期は仕入価格DI以外の全ての項目で悪化が予想される
- ・ 経営上の問題点としては、「人手不足」、「コスト高」を挙げる企業が多く見受けられた